

— 防災リュック背負って5人が緊急避難 —

～ 6月22日大磯町総合防災訓練に臨場感走る！ ～

6月22日、大磯町総合防災訓練(大型台風・風水害避難訓練)が行われました。石神台では、当日の訓練の流れとして、8:00の町内防災無線放送「避難訓練開始！」にはじまって「黄旗掲出」行動・安否確認訓練を行い、9:30「警戒レベル3、4」との無線放送を受けて「指定緊急避難場所」(石神台会館)への避難訓練を行いました。

黄旗掲出も468世帯、69パーセント！

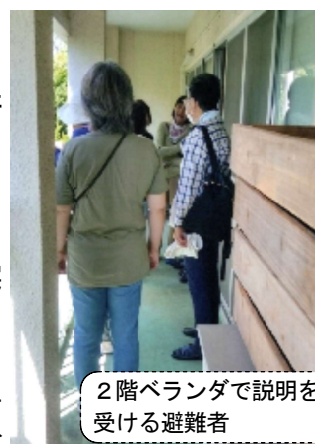
「黄旗」では、点検時に掲出のない家に街区役員が声掛けをやりながら一軒一軒状況を確認して公民館本部に報告。(安否確認結果は表の通り)

「避難訓練」では、防災本部が緊急避難場所を開設して待機していたところ、5名の方々が実際に避難行動をとって参加されました。

避難してこられた方々は防災リュックを背負ってくるなど、さながら現実を意識した行動で関係者から感嘆の声があがりました。

避難者は受付後、高木自治会長の案内で2階和室に誘導され、「横になって休みたい人はどうぞ…」など受け入れ体制の説明があり、また、避難場所にはどんな物が保管されているのか実際に2階ベランダ倉庫内を見学しながら説明とディスカッションが行われました。避難訓練は10:30に終了しました。

参加した関係者からは、「今回は参加してみて参考になった」「いつもとは違った訓練で参考になった」などの感想が聞かれました。



安否確認結果

項目\実施日	今回 R6. 6. 22	R6. 11. 17	R6. 6. 23	R5. 11. 5
世帯数	675	665	672	655
黄旗掲出	468	500	394	438
割合	69%	75%	59%	67%
未調査街区数	0	0	0	1

これは必携！

『段ボール製簡易トイレ』

災害時に『不便に感じたこと』の1位はトイレだったそうです。様々な理由で水洗トイレが使えなくなりトイレ不足が生じるからでしょう。

トイレを我慢しようと水分を控えると体力低下を来します。そこで備蓄しておきたいのは簡易トイレ



です。ホームセンターの防災用品売り場をみたら『段ボール製簡易トイレ』がありました。(左下写真)

折りたたみ・組み立て式でサイズは縦・横・巾が40×33×9.5センチで携帯可能。購入して組み立ててみましたが納得でした。

ケース内には、備便袋・便凝固剤・廃棄袋が5セット入っていますが、備蓄量としては、3日分、できれば7日分を他に用意しておきましょう。

レジャーにも持って行けるそうです。

(ちなみに価格は税込み3,289円)

